

トピックス
TOPICS4



坂木常義氏(写真右)

**区長永年勤続
坂木常義氏(坂本)**
坂木常義氏が通算19年間坂本区長を務められた功績に対し、市から感謝状及び市連合区長会より表彰状が贈呈されました。坂木氏は坂本区長として、玉野中学校の統合の際には住民の声をまとめるなど地域行政の運営に尽力されました。これまでの功績に敬意を表し、今後益々のご活躍をお祈りいたします。

トピックス
TOPICS5



佐藤満氏(写真右)

**日本赤十字社表彰状
佐藤 満氏(新町2)**
中華料理竹八店主の佐藤満氏が、日本赤十字社に多額の会費を納付されたとして、日本赤十字社山形県支部長吉村美栄子氏より表彰状が贈られました。佐藤氏は東日本大震災でお店の1日分の売上金を全額寄付して以来、災害が起こる度に被災地に義援金を送るなど社会貢献に尽力されています。

トピックス
TOPICS2

尾花沢の味覚を全国へ!
「尾花沢すいか」出発式

高い糖度とみずみずしい果肉、シャリとした食感が特徴の「尾花沢すいか」を全国に届けるため、7月17日、JAみちのく村山西部すいか選果施設(大石田町)で出発式が行われました。



尾花沢市長、農協関係者などによるテーパーカット。本格的な尾花沢すいかの出荷シーズがスタートしました。

出発式では尾花沢すいか出荷に向けて安全・安心祈願を行い、御神酒で乾杯。その後テーパーカットを行い、尾花沢すいかの箱をいっばいに詰め込んだ大型トラック2台が出発するのを見送りました。
例年だと、市長が首都圏等の消費者へ直接PRを行うトップセールスや、すいかコンテストなどのイベントを行っていますが、今年は新型コロナウイルスの影響で中止となりました。また、低温、強風、大雨にも悩まされましたが、農家の皆さんが1年かけて丹精込めて育てたすいかが日本各地に届けられ、尾花沢すいかのおいしさを知っていただけることを期待します。



会場で尾花沢すいかを試食。今年の出来栄を確かめた。

トピックス
TOPICS3

ゲース カフェ
「Goose Cafe」オープン

7月23日、徳良湖オートキャンプ場管理棟内に若者居場所づくり事業として「Goose Cafe(ゲースカフェ)」がオープンしました。(株)尾花沢市ふるさと振興公社が運営し、地域おこし協力隊の久保田文さんが運営に参加して料理を提供します。



徳良湖オートキャンプ場管理棟内の一部を改修し、Goose Cafe(ゲースカフェ)がオープンしました。徳良湖に住みついているガチョウ(英語でGoose)のように地元根付いていきたいという思いを込めて名付けられました。カフェ内には廃校から運び込みリメイクした家具が並び、懐かしくも居心地の良い雰囲気になっています。
カフェでは、そば粉やブルーベリー、米粉などの地元食材を使用した料理と、イタリア製エスプレッソマシンから抽出されるスパシャリテイコーヒーを味わうことができます。徳良湖に若者だけでなく、老若男女が気軽に立ち寄れる場所を創り出し、新たな交流創出と本市のさらなる活性化につなげていきます。
オープン初日は大勢のお客さんが訪れ、徳良湖の景色を眺めながら、尾花沢の味覚を楽しみ、くつろぎの時間を過ごしていました。



オープン初日の様子



尾花沢産そば粉を使ったそばガレット



久保田さんがつくるこだわりのコーヒー



元地域おこし協力隊古藤さんによるギター弾き語りでお祝い

尾花沢市長 菅根茂雄

例年になく長雨が続き、7月も過ぎ、尾花沢らしい暑い夏が続いておられます。
さて、7月27日からの豪雨の際には、土砂災害警戒情報の発出と同時に避難勧告を行い、対象区域の皆様は避難していただきました。また、28日夜には、最上川の水位が急激に上昇したため、毒沢地区の協力により、浸水被害のおそれがある全世帯が無事避難することができました。
しかし、本町地区、福原地区の水源地である豊田水源場が浸水被害を受けたことで送水ができなくなり、上水道が復旧するまでの間、市民の皆様には大変ご不便をおかけしました。断水や給水活動へのご理解、ご協力をいただきありがとうございました。
災害対策はいかに人命を守るかが最も大切であり、地区民の協力が何よりも必要とされます。このたびの豪雨災害を契機に、各ご家庭にお配りしている「尾花沢市防災情報ガイド」を今一度ご確認ください。日頃から防災意識を高めていただきたいと思います。
先日、「なないろ」の愛称で病児・病後児保育施設を開所いたしました。希望の象徴である虹を連想させるとともに、子どもたち一人ひとりの個性が「なないろ」に輝くよう願いを込めた素敵な施設名を市民の方に名づけていただきました。
本市では、子育て日本一を目標に取り組んでおりますが、病児・病後児保育施設を開設することができ、さらなる子育ての充実が可能となりました。今後も、未来を担う子どもたちを心身ともに健全に育てるあつたかいまづくりに取り組みまいります。



市長コラム